



旧道の駅高田松原タピック45で津波の高さを実感する大学生ら

## 被災地の復興視察

全国の学生ら  
陸前高田訪問

全国各地の高校生、大学生ら28人が21日、陸前高田市を訪れた。東日本大震災の被災地を訪問し、今後の生き方に役立てる人材育成事業の一環。一行は戸羽太市長を表敬訪問し、市内各地を視察するなど被災地の取り組みに理解を深めた。

一般財団法人教育支援グローバル基金(東京都渋谷区)の主催。戸羽市長から復興への取り組みやまちづくりへの思いを聞いたほか、一行は19日から22日まで、本県と宮城県の被災地を訪れて学びを深め、最終日に仙台市内で開かれる報告会に臨む。

か、同市高田町の一中校庭に残る仮設住宅、震災遺構の旧道の駅高田松原タピック45、旧気仙中学校舎、奇跡の一本松などを見学した。

大槌町出身で4月から東京・多摩美術大に進学する遊佐紀子さん(21)は「地元以外の被災地を回るのは初めて。知らなかった3・11を知る機会になる」と被災地を知る一人として思いを語った。

一行は19日から22日ま